

人と物が交流し、活力みなぎるまちづくり

EC 活用販売促進等支援事業補助
【ふるさと応援基金活用】

3,909万円



市内事業者のECサイト活用の促進や地域性を生かした付加価値の高い新商品の開発を支援します。

その他の事業

- 水産加工品の輸出拡大を図るため、水産加工業者が行う輸出先のニーズに対応したHACCP（ハサップ）等の基準を満たすために必要な施設等の整備を引き続き支援します。
- 各種の支援制度を活用して、農業後継者の確保や認定農業者の経営安定を図るとともに、新規就農者の掘り起こしを行い、担い手を確保していきます。
- 林業の生産性向上を図るため、令和12年度の完成を目指し、本市と南九州市を結ぶ林道を整備します。
- 国の雇用調整助成金の活用の際に、申請に要する費用の補助や市独自の上乗せ補助を引き続き行います。

火之神公園整備事業

2,801万円



利用者が増加している火之神公園について、ユニバーサルツーリズムを推進する観点から、高齢者や障害者に配慮した駐車場整備を行います。

「枕崎の、仕送り。」ふるさとの味エール便事業

【ふるさと応援基金活用】

258万円



本市出身の若者を応援するため本市の特産品を送付する「枕崎の、仕送り。」ふるさとの味エール便事業を対象者を拡大して、引き続き実施します。

健康ですべての人々にやさしいまちづくり

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

6,027万円



ワクチンの追加接種および5歳から11歳の子どもたちへの初回接種について、国、県および本市医師会などの関係機関の協力のもと、円滑に実施します。

高血圧対策事業

【ふるさと応援基金活用】

559万円

市民の皆さんの血圧測定の実践に向けて、家庭用血圧計の配布事業を実施し、市内量販店と連携し減塩商品の啓発を図ります。



保育所等入所者負担金軽減



0歳から2歳までの乳幼児に係る保育所等入所者負担金について、国の定める基準額の半額にまで保護者の負担額を軽減します。

保育所等入所児童おむつ給付事業
【ふるさと応援基金活用】

509万円



保育所や認定こども園を利用する0歳から2歳児までの乳幼児に係る紙おむつの費用に対する補助制度を導入します。

その他の事業

- 市立病院の医療機器等の整備を行い、より充実した医療サービスを提供し、新型コロナウイルス感染症の診療・検査医療機関として医療提供体制の確保を図ります。
- 市内の産科医および小児科医や本市医師会役員で構成する懇話会において、昨年度に引き続き必要な対策の検討を行います。
- 交通弱者のタクシー利用に係る運賃助成制度のさらなる利用促進を図ります。
- 雇用による就労が困難な方に対し就労に必要な知識・能力の向上のための訓練を行う「就労準備支援事業」を実施します。



塩浜公園テニスコートナイター照明施設

更新工事 4,000万円

公園施設長寿命化計画に基づいて、塩浜公園のテニスコートのナイター照明施設の改修工事を実施します。



谷原団地建替事業 3,009万円

市営住宅の長寿命化計画に基づいて、老朽化した谷原団地の建て替え工事に着手します。

消防団員経費 3,753万円

地域防災力の中核となる消防団員の報酬等の処遇改善を図り、市民の安全と安心を確保するため、設備ならびに装備の充実・強化を行います。



新クリーンセンター施設整備事業負担金
2億5,001万円

南薩地区衛生管理組合において、(仮称)南薩地区新クリーンセンターの令和6年9月の供用開始に向け、本年2月から本体建設工事が着工されています。

その他の事業

- 水道事業では、施設の更新事業や別府地区の水量・水質を改善するための工事を継続して実施します。
- 内鍋清掃センター廃止後に設置するごみ運搬中継と資源ごみの中間処理を行うごみ処理中継施設の整備事業に取り組みます。
- 県単砂防事業による木口屋集落の土石流危険渓流中洲川の改修・保全工事を実施します。
- 新町・旭町地区の枕崎漁港海岸護岸整備に引き続き取り組みます。
- 災害関連情報等を確実に伝達するため、引き続き防災行政無線戸別受信機と防災行政無線の放送内容を自動配信する登録制メールの普及に取り組みます。

快適で便利なコンパクトなまちづくり



田中・火之神線道路改良事業
3,500万円

火之神公園駐車場の整備に合わせ、周辺の歩道整備を実施します。



道路改良事業 1億3,400万円

通学路などの安全を確保するため、駅前広場に接続する小江平通線などの道路改良工事を実施します。

その他の事業

- 長寿命化修繕計画に基づき、小川橋、馬追橋、第二馬追橋、竹山橋および仁田浦東橋の補修工事のほか、橋梁詳細点検を計画的に実施します。
- 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、既存の交通網の最大限の活用と、それを補完する新たな交通手段の具体化などによって、高齢者を始めとする交通弱者の救済と、市民の利便性の向上に取り組みます。



地域デジタル化推進事業
378万円

デジタルデバインド解消を目的とした高齢者向けスマホ教室の開催、職員のITリテラシーの向上を目的とした研修、民間企業との連携によるITを活用した地域課題解決の検討など、地域デジタル化の推進に取り組みます。

安全で潤いとやすらぎのある
きれいなまちづくり